



三沢さとし県議会レポート

発行 / 自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13 電話043(227)7411

船形バイパス整備で要望

館山市 特集

国道410号の歩道整備も

昨年4月の県議選で、激戦を制して館山市選挙区から県議会へ活躍の舞台を移した三沢智(みさわ・さとし)県議は、12月定例会議会で一般質問に初登壇しました。

三沢県議は、地元館山市の地域振興策に論点を絞って、船形バイパスの整備促進、館山港の多目的棧橋の整備状況、県立館山運動公園の施設改修

とオリンピック・パラリンピックでのキャンプ誘致へ向けた県の積極支援などを要望しました。また、地域農業の若い担い手育成のほか、観光振興では、外国人観光客の誘致戦略などを取り上げ、県議として地域活性化に積極的に取り組む姿勢を明確にしました。三沢県議の一般質問の質疑を特集しました。

三沢議員 船形バイパスは、館山自動車道の開通や東京湾アクアラインの料金引き下げ等により、南房総地域において大幅に増加している来訪客を円滑に観光

拠点へと誘導する、南房総市域と館山市域を結ぶ極めて重要な道路です。この道路の整備により、新たな交通導線が創出され、広域幹線道路と「渚の

駅たてやま」等がある館山湾岸地域へのアクセス性の強化が図られます。千葉県と館山市が一体となって両事業を推進し、同時に供用を図ることが、地域活性化や観光振興に必要不可欠であります。



県議会の本会議場に初登壇した三沢県議

33年度を完成目標としており、1年でも早期に完成するよう待ち望んでいるところです。そこで質問します。船形バイパスの進捗状況はどうか。

県土整備部長 船形バイパスは、富津館山道路の富浦インターチェ

ンジから船形漁港を経由し、館山港の主要観光施設を結び、約1.6キロの重要な道路です。

このうち、県では南房総市内の0.5キロで県道の改良事業を実施しており、今年度から用地買収に着手したところです。また、館山市内の1.1キロは、館山市

が街路事業によりバイパス整備を進めており、昨年度から用地買収に着手し、取得率は面積ベースで約3割と聞いています。今後とも、地元のご協力を得ながら、用地取得を進めるとともに、市と連携を図りながら、事業の推進に努めてまいります。

神戸小学校の通学路

三沢議員 小学校の統廃合により、富崎小学校の児童が、平成24年4月から隣の神戸小学校まで通学しており、通学路となっている国道410号の大神宮地先も一部歩道がない区間があり、この未整備となっている区間の早急な歩道整備をお願いしたいと思えます。国道410号の館山市大神宮地先の歩道整備について、取り組み状況はどうか。

今年度は、現地測量や地権者調査を行っており、来年度は用地取得に向けた地元説明会や境界確認などを実施する予定です。

県土整備部長 国道410号の同地先については、神戸小学校の通学路と

要望 まだまだ神戸地区道未整備区間が残っていますので、引き続き早急な整備をお願いします。

農業の担い手育成を

三沢議員 千葉県農業の将来を考えると、農業を志して農業で食べていく、そして「農業を選んでよかった」と思ってもらえるような若者を、地道に育てていく活

動が重要ではないかと、私は考えています。県は、次世代を担う青年農業者の育成にどのように取り組んでいるのか。

森田知事 青年農業者が

営農意欲を保持していくためには、収納直後の経営が不安定な時期に必要な資金の確保や技術の習得、さらには悩みを相談し合える仲間づくりを後押ししていくことが重要だと考えています。このため県では、
○就農後5年間に、年間最大150万円を支給する青年就農給付金制度の活用推進
○就農後3年間、規模拡大や新技術の導入など、多くの先進事例を共に学ぶ経営体育成セミナーの開催
などの支援を行っているところであります。
また、関係機関や団体と連携しながら、セミナー終了後のネットワークづくりなど、きめ細かな支援を継続して行い、本県農業を支える担い手育成に努めてまいります。

●館山市と県政に関するご要望をお寄せください。

三沢さとし 県議事務所

〒294-0037 館山市長須賀470-1
TEL0470-22-3051 FAX0470-22-3052

地元振興策に焦点絞って!

多目的棧橋の整備を要望

12月県議会質疑から



自席から再質問する三沢県議

三沢議員
私は、館山市が進める「千(船)客万来の(船)客万来の」交流拠点の実現を目指すには、さらなる小型船係留施設の整備をぜひ進めていただき、小型船利用者にも多目的の棧橋という海の玄関口を活用して、マリネクリエーションはもとより、市内散策や南房総観光を楽しんでいただき、地域の活性化につなげていきたいと考えております。

そこで質問します。館山港多目的の棧橋における小型船係留施設の整備について、進捗状況はどうか
県土整備部長 県では、南房総地域の海の玄関口として、クルーズ船や高速ジェット船などの寄港による地域振興を図るため、館山港において多目的の棧橋を整備

運動公園の改修も

三沢議員 館山運動公園の昨年度の利用者は、約17万人を数え、地域のみならず県外の人たちにも親しまれています。一方で、開設から30年以上が経過し、施設の老朽化も目立っています。今後多くの方々にご利用していただくためには、適切な維持管理を行い、さらに機能強化も図っていく必要があると思います。県立

し、平成22年4月に供用を開始したところです。多目的の棧橋では、水深3メートルの小型船係留施設を1基整備しており、海中観光船の定期運行に利用されています。一方でプレジャーボート等の利用施設が不足していることから、さらに1基を増設することとしています。小型船係留施設の増設整備については、今年度は詳細設計を実施しており、来年度から工事に着手する予定です。

要望

館山港多目的の棧橋の送迎が可能となるように整備してもらいたい。

都市整備局長 施設の改修については、公園施設の長寿命化計画に基づき順次更新等を実施しており、これまでにテニスコートの人工芝の張り替えや、移動式バスケットゴールの交換等を実施しました。現在、遊戯広場における大型遊具のリニューアルを進めているところです。

長寿化計画に基づいて順次改修をすすめているとの答弁でしたが、厳しい財政状況も分かりますが、今のままでは機能強化にも限界があります。地域住民の皆さまの健康維持・増進や憩いの場として、

広域連携で観光振興

三沢議員 観光振興による地域経済の活性化を図るためには、近隣の市町村が連携して広域的な視点から情報発信やプロモーション事業を展開し、外国人観光客や国内旅行者を呼び込むことが重要と考えます。市町村による広域連携の取り組みに対し、県としてどのように支援していくのか。

森田知事 地域への経済波及効果が高い宿泊型滞在観光を推進する上で、点在する本県の観光地を、「点から線へ」「線から面へ」と、周遊コースとして提供すること

また「おもてなし」など、観光的な面からも、さらにはオリンピック・パラリンピックのキャンプを誘致できるような施設になればと、館山運動公園に高い期待を寄せています。老朽化した施設、特に体育館の建て替えについても、ぜひご検討をお願いしたい。地域でキャンプ誘致の気運が高まった際には、県もしっかりと応援していただくよう要望します。

このため県では、県内を6つのブロックに分け、地域ごとに市町村や観光協会、民間事業者などで構成する「ちばの観光掘り起こし隊」を設置し、観光資源の発掘、磨き上げを進めています。

館山市民の間では、館山市出身のX-JAPAN YOSHIKIさんと呼ぼうという運動が起きているので、県にも協力をお願いしたい。

公衆無線LAN整備

三沢議員 訪日外国人観光客の県内誘致を促進する

海水浴場の安全対策

三沢議員 館山市内の海水浴場における取り組みを踏まえ、今後の県下海水浴場における安全対策についてどのように考えているのか。

警察本部長 本年、館山市において、安心・安全な海水浴場の確保を目的とした条例が制定され、館山市及び関係団体と館山警察署による合同パトロール等



壇上から森田知事(左)らに地域振興を訴える三沢県議

このため県では、昨年度市町村や事業者が行う公衆無線LANの整備やホームページの改良に対する助成

実施した結果、警戒警備強化期間中の館山市内の海水浴場における事件・事故が大幅に減少するなど、大きな効果があったと認識しています。県警としては、これを踏まえ、引き続き関係機関と密接な連携の下、海水浴場等の安心・安全の確保に努めてまいります。